国際ロータリーアジア第１・第３ゾーンローターアクト研修会報告

ローターアクト
委員長 才川　博成

比の度1993～1994年度国際ロータリーアジア第１・第３ゾーン：ローターアクト研修会が、去る３月12～13日兵庫県三原郡南淡町福良南淡路、ロイヤルホテルにおいて開催されましたので、当2500地区より、本年度ローターアクト地区代表萓島浩幸君、次年度地区代表ノミニー番場規真君、幹事ノミニー若原敏広君と、私の４名が出席しました。

恒例に従い、12時登録、受付13時開会式、点鐘。
君が代およびアクトソング斉唱
開会の言葉
来賓並びに参加ロータリークラブ紹介
参加ローターアクト紹介
歓迎の言葉、挨拶
登録者報告　ロータリー　93名
ローターアクト　281名
13時30分より講演
演題「変わる世界ロータリーそしてローターアクト」
講師　1980～1981年度、ＲＩ第2680地区パストガバナー、今井鎮夫様、
15時30分よりロータリアンと、ローターアクト各々別室に移り、ロータリアンは次のテーマについて、活発な意見の交換がなされた。
1.各地区間のレベル格差（ローターアクト）について。
2.ローターアクトクラブと、ロータリークラブ間の協力関係について。
3.ローターアクトの拡大について。
各地区の意見を集約すると、殆んど同様の発言であります。概要を次のとおり報告します。
Ⅰ．ローターアクトクラブに対するロータリアンの理解度が無く、ロータリークラブに於いても、提唱クラブである認識さえ欠ている。
Ⅱ．ローターアクトの地区委員長は、会長経験者又は、若い人が良いのではないか、アクト馬鹿と言われる位の、人材を育てる必要がある。
Ⅲ．ガバナー要請で、３年委員を形成しては。
Ⅳ．ローターアクトクラブの事業に、ロータリアンも積極的に参加し、共に汗することにより、アクトに対する認識と理解度が深まるのでは。
Ⅴ．３月13日国際アクトデー、９月10日アクトデーに因んで、奉仕活動又は、研修会等統一した事業をしているが、大多数、アクトクラブと、ロータリークラブと合同事業として、地域差もあるが、統一行動を執行するのも一つの方法ではないか。
Ⅵ．ローターアクトの海外研修をするべきではないか。国際理解にも繋がるので実施するべきである。2510地区は、既に実施している。地区、及び、提唱クラブが、各10万円の補助金を出している。2520地区は、４万円の助成金で、既に実施している。
Ⅶ．ローターアクト未提唱クラブに対する、働きかけについては、地域差特に、東北北海道の如く過疎化、青少年の減少等問題はあるが、ガバナー、各会長、委員長、アクトクラブ会長の協議により、対策を講ずる必要があるのでは、特に、未提唱クラブに対し、卓話等により協力を求めるよう努力するべきである。
参考までに、淡路島には、４つのロータリークラブがあり、２つのローターアクトクラブがある。２つのロータリークラブが協力し、ローターアクトクラブを提唱し、各々立派に育成している。
以上、報告いたしましたが、比の問題については、数多く論議されるべきであり、アクト会員増強についても、ロータリアンが、真剣に取組んでゆく必要があることを痛切に感じました。
尚、先に記載したテーマについては、第１日目は、15時30分から18時20分まで。
第２日目は、９時から12時まで休憩なしで行れましたことを申添えます。